

P1 株主のみなさまへ

P4 工事实績のご紹介

P5 財務情報

P7 上半期トピックス

P9 技術のご紹介



代表取締役社長

今井 雅則

ごあいさつ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当上半期(2015年4月1日～2015年9月30日)の決算概要とともに、経営計画の進捗状況につきましてご報告いたします。

当上半期の概況

当上半期における国内景気は緩やかな回復基調にあるものの、輸出や生産等に弱い動きが見られるなど、先行きに対する懸念感が高まっております。建設業界においては、民間工事からの受注が堅調に推移した一方で、官公庁工事が減少に転じるなど、全体として前年度を下回る水準で推移いたしました。

このような状況の中、当上半期における当社グループの業績は、連結売上高は主に当社における完成工事高が増加したことにより、前年同期比16.3%増の2,184億円となりました。

営業損益につきましては、採算重視の受注方針の徹底等により完成工事総利益率が向上した結果、営業利益は109億円(前年同期比61.5%増)となりました。また、経常損益は、受取利息及び保有する投資有価証券の受取配当金等により、119億円の経常利益(前年同期比56.2%増)となりました。

親会社株主に帰属する四半期純損益につきましては、特別利益において投資有価証券売却益5億円を計上した結果、113億円の親会社株主に帰属する四半期純利益(前年同期比42.5%増)となりました。

上半期の取り組み

当社は、今年度より、2017年度を最終年度とする新たな中期経営計画をスタートさせました。本計画におきましては「生産性No.1」と「成長への基盤」の実現を基軸に据え、各施策を推進しております。

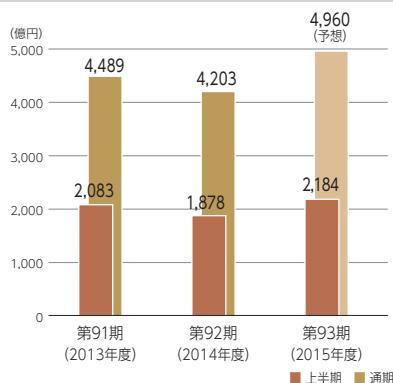
当上半期における主な取り組みといたしましては、生産性向上における部門横断型の組織体制として「生産性No.1推進委員会」を7月に設置いたしました。本委員会の下部には複数のプロジェクトチームが組成されており、業務改革（業務フローの見直し及びICTの再構築）、施工技術の革新、戦略的調達の構築等に向けた取り組みを推進して

おります。

成長への基盤におきましては、本社ビル建替え（京橋一丁目東地区再開発B街区）について、その事業概要、スケジュール等を9月に発表いたしました。本計画の実施にあたりましては、企業姿勢を発信するべく、当社技術力の向上と結集、芸術・文化振興等の社会貢献に取り組んでまいります。また、テナントビルとして、竣工後の安定収益の確保を目指してまいります。なお、工事時期は2021年度から2023年度を予定しており、着工に向けて詳細計画の策定を進めてまいります。

財務ハイライト(連結)

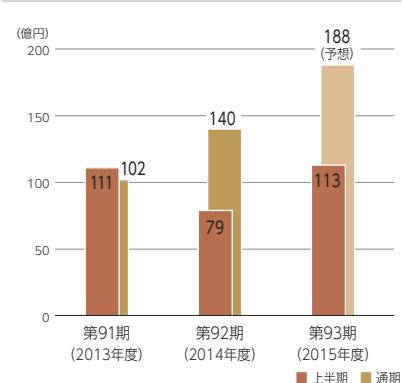
売上高



営業利益 / 経常利益



親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益



下半期に際して

今後の経営環境を見ますと、国内景気の動向に合わせ、建設投資の先行きに対して不透明な状況が続くものと予想されます。

下半期におきましては、生産性の取り組みを更に加速し、国内建設事業の収益水準の向上とともに、戦略事業に位置付けている投資開発、海外、国内グループ会社へのリソースシフトを進め、事業領域の拡大を図ってまいります。また、人事関連規定及び制度の整備等を進め、人材力を強化し、社員一人ひとりが能力を発揮できる職場環境づくりに取り組んでまいります。

こうした状況を踏まえ、当期通期の業績は、連結売上高4,960億円(前期比18.0%増)、連結営業利益191億円

(同47.2%増)と増収増益を予測しております。事業別業績(営業利益)の見通しにつきましては、国内建築156億円、国内土木34億円と、国内建設事業はいずれも前期を上回ることを予想しております。また、戦略事業におきましては、投資開発4億円、海外△13億円、国内グループ会社10億円を見込んでおります。

なお、1株当たりの年間配当金は9円(前期比2円増)を予定しております。

引き続き、グローバルビジョンに掲げる「“喜び”を実現する企業グループ」を目指して邁進してまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

事業別業績(前期実績および当期見通し)

営業利益



	第92期	第93期	第92期	第93期	第92期	第93期	第92期	第93期	第92期	第93期
売上高(億円)	2,867	3,586	912	935	58	75	210	189	331	360
利益額(億円)	89	156	30	34	6	4	△3	△13	8	10
利益率(%)	3.1	4.4	3.3	3.6	11.8	5.3	△1.6	△6.9	2.6	2.8

売上高構成比(第93期予想)



工事实績のご紹介

当上半期の完成・受注工事

当社では、機能性や品質に優れ、安心・安全で、環境に配慮した建設物を実現することで、建設業としての企業の社会的責任を果たしています。当上半期における主な完成・受注工事をご紹介します。

(仮称) 獨協医科大学教職員宿舎新築工事



工事名称 ▼

(仮称) 獨協医科大学
教職員宿舎新築工事

工事場所 ▶ 栃木県

発注者 ▶ (学) 獨協学園

竣工月 ▶ 2015年9月

工事概要 ▼

床面積 24,954.82㎡
A棟:ドミトリーさくら 296室
RC造 地上12階
地下2階 塔屋1階
B棟:ドミトリーいちよう 204室
RC造 地上10階
地下1階 塔屋1階
C棟:ロビー棟
RC造およびS造
地上1階 地下1階

用途 ▶ 住宅

東京都水道局 朝霞原水連絡管



工事名称 ▶ 朝霞市泉水一丁目地先から同市宮戸一丁目
地内間原水連絡管

工事場所 ▶ 埼玉県

発注者 ▶ 東京都水道局

竣工月 ▶ 2015年8月

工事概要 ▶ 発進立坑 1箇所
泥水シールド工法 L=2,760m 断面7.45㎡
地盤改良工一式
舗装及び道路附帯工一式
仮設工一式

用途 ▶ 上下水道

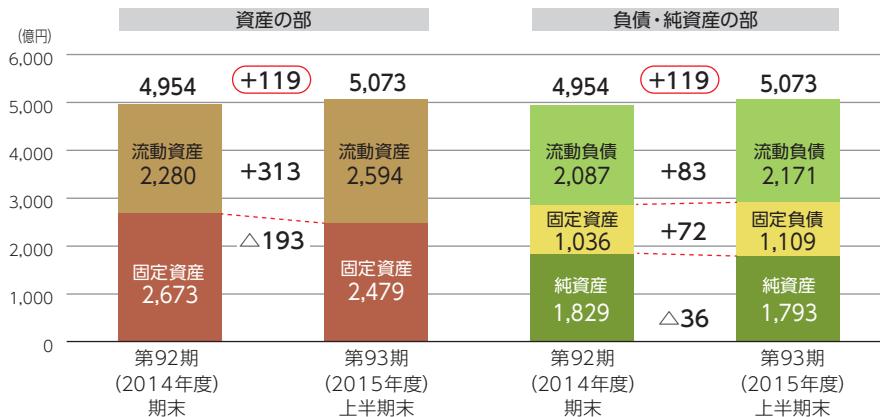
■ 当上半期における主な完成工事

- ・長崎田手原ソーラー合同会社
長崎メガソーラー発電所 メガソーラー用設備設置工事
- ・旭酒造(株) 酒蔵新設工事(4期)
- ・(学) 麻布獣医学園
麻布大学(仮称) 新5号館・新食堂等建築工事
- ・明星食品(株)
東日本明星(株) 埼玉工場 新第2工場増築工事
- ・大曲通町地区第一種市街地再開発組合
大曲通町地区第一種市街地再開発事業施設建築物建設工事(JM)
- ・東北地方整備局 国道45号 矢本石巻道路下部工工事
- ・独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 北海道新幹線建設局
北海道新幹線、函館総合車両基地仕業検査庫外新築(JM)
- ・高知市 江ノ口雨水貯留管築造工事
- ・近畿地方整備局 第二阪和国道大谷西地区改良他工事

■ 当上半期における主な受注工事

- ・地方独立行政法人 桑名市総合医療センター
桑名市総合医療センター建築工事
- ・(学) 東洋大学
(仮称) 東洋大学赤羽台キャンパス新校舎建設工事
- ・オリックス(株)、(株) サンケイビル
(仮称) 山王プロジェクト建設工事
- ・兵庫県 小児がんに重点を置いた新粒子線治療施設建築工事 他
- ・岩手県釜石市 釜石市民ホール(仮称)建設工事
- ・(株) 日特製作所 (仮称) 日特製作所新築工事
- ・環境省 平成27年度浪江町除染等工事(その4) (JM)
- ・宮城県 津谷川外河川災害復旧工事(その4)
- ・中国地方整備局 長門依山道路大寧寺第1トンネル工事
- ・(株) ユーラス伊達黄金風力
ユーラス伊達黄金ウインドファーム建設工事

連結貸借対照表



資産の部

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、保有株式の時価の下落により、固定資産である投資有価証券が192億円減少しましたが、流動資産である受取手形・完成工事未収入金等の増264億円、有価証券(譲渡性預金等)の増80億円などにより、前連結会計年度末と比較して119億円増加の5,073億円(2.4%増)となりました。

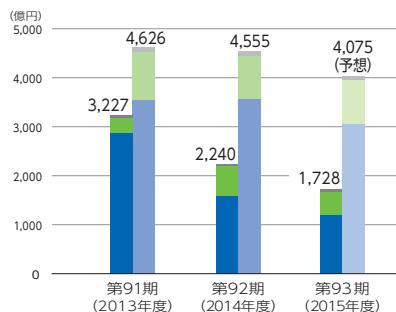
負債の部

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、支払手形・工事未払金等が45億円、工事損失引当金が33億円減少しましたが、大型工事の前払金の入金等による未成工事受入金の増118億円、社債の発行100億円などにより、前連結会計年度末と比較して155億円増加の3,280億円(5.0%増)となりました。
※ 2015年9月に無担保普通社債の5年債50億円と7年債50億円の計100億円を発行しております。

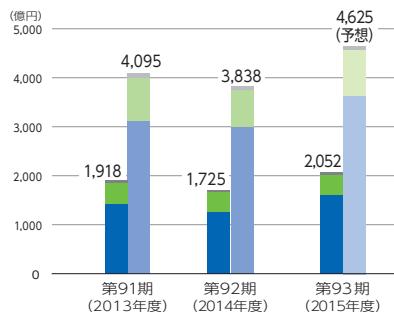
純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、利益剰余金が88億円増加したものの、保有株式の時価の下落により、その他有価証券評価差額金が126億円減少したことにより、前連結会計年度末と比較して36億円減少の1,793億円(2.0%減)となり、自己資本比率は34.9%となりました。

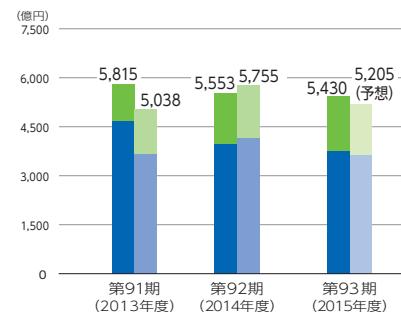
受注高(個別)



売上高(個別)

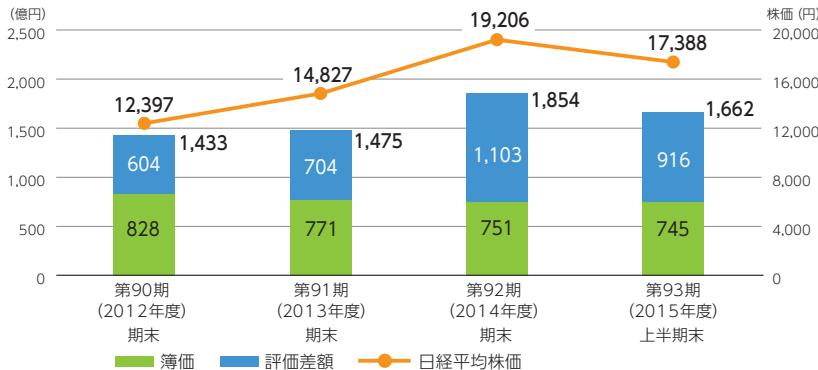


繰越高(個別)



建築事業：■上半期 ■通期 土木事業：■上半期 ■通期 不動産事業：■上半期 ■通期

投資有価証券の推移



投資有価証券

保有株式につきましては、株価変動リスクの低減、手元資金の充実の観点から、漸次売却を進めておりますが、時価の下落による評価差額の減少187億円、売却による簿価の減少6億円により当第2四半期末の残高は1,662億円となりました。

なお、損益への影響は、営業外収益に受取配当金12億円、特別利益に売却益5億円が含まれています。

連結キャッシュ・フローの状況

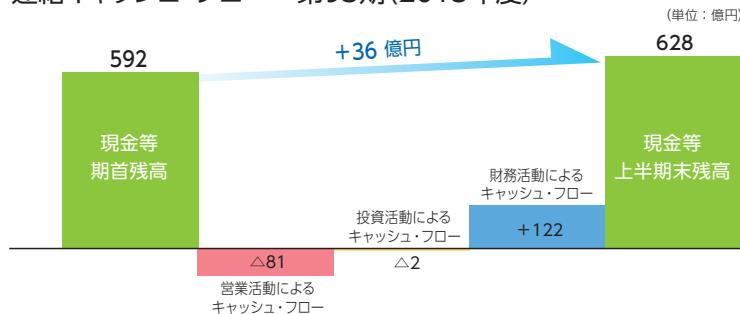
税金等調整前当期純利益が126億円となり、未成工事受入金の増加により119億円の資金が増加しましたが、売上債権の増加により264億円、仕入債務の減少により44億円の資金が減少したため、営業活動としては81億円の資金減少となりました。

投資有価証券の売却及び償還により21億円、有形固定資産の売却により8億円の資金が増加となりましたが、投資有価証券の取得により11億円、有形固定資産の取得により16億円の資金が減少したため、投資活動としては2億円の資金減少となりました。

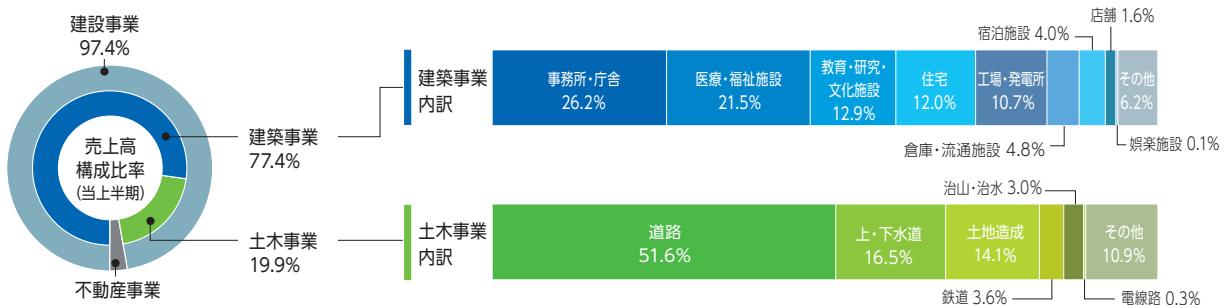
配当金の支払により21億円の資金が減少しましたが、社債の発行により100億円、借入金の増加により45億円の資金が増加したため、財務活動としては122億円の資金増加となりました。

この結果、当第2四半期末における現金及び現金同等物は、前期末に比べて36億円増加して、628億円となりました。

連結キャッシュ・フロー 第93期(2015年度)



事業種別別 売上高構成比率(個別)



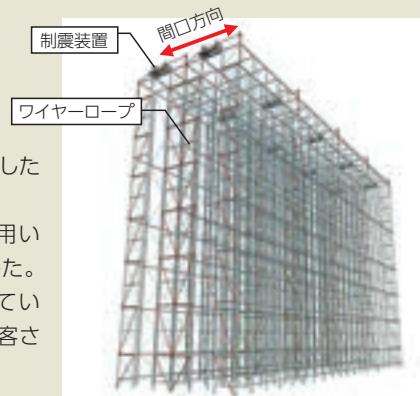
5月

「ワイヤーロープを利用した立体自動倉庫制震工法」の 検証実験を公開

当社は、昨年開発した高い制震性能を有しかつローコストな「ワイヤーロープを利用した立体自動倉庫制震工法」の性能検証実験を行い、マスメディアに公開しました。

実機を模擬した試験体を製作し、東北地方太平洋沖地震(2011年)の観測地震動を用いた加振実験を行い、頂部の変位や加速度を1/3~1/2程度低減できることを確認しました。

今後、立体自動倉庫の導入を検討されているお客さまへ、本工法を積極的に提案していく考えです。さらに、本工法が適用された場合には振動解析やシミュレーションなど、お客さまへのBCP強化やリスク管理に協力してまいります。



5月

ブラジルでスマートコミュニティ構築事業 及びZEB構想を紹介

当社のグループ会社であるブラジル戸田建設(株)は、5月19日(火)から5月21日(木)にかけ、ブラジル連邦共和国パラナ州クリチバ市で開催された「スマートシティビジネスアメリカ」において、当



社が取り組んでいるスマートコミュニティ構築事業、ZEB構想、(株)村田製作所との異業種コラボレーションによる技術開発事例などを紹介しました。

「スマートシティビジネスアメリカ」は、主にブラジル国内の実業家、政治家、コンサルタント、建築家、都市計画家、建設会社や投資家に対し、より良い都市の姿を目指すための新たな機会の場を提供するイベントです。過去2回は、ブラジル国内の関係者を招いて開催されましたが、3回目にあたる今回は、より国際化を進めるため、5大陸の専門機関、大学、研究所、企業や投資家が招かれました。日系企業としては、メーカー2社と、ゼネコンとして唯一ブラジル戸田建設(株)が招かれました。

6月

戸田ビルディングサンフランシスコに 太陽光発電設備を導入

当社のグループ会社で、アメリカ合衆国で不動産事業会社を営むアメリカ戸田建設(株)は、同社がカリフォルニア州サンフランシスコ市に所有、賃貸運営する事務所ビル「戸田ビルディングサンフランシスコ」に247.51kWの太陽光発電設備を導入しました。

事務所ビルや集合住宅が林立するサンフランシスコ市街にありながら、約4,000㎡の広さを持つ当ビルの屋上に、934枚の太陽光パネルを敷設しました。日本に比べて約1.5倍の豊富な日射量も寄与し、年間発電電力量は371,265kWhと期待されており、CO₂削減効果も年間約230tが見込まれています。

環境意識が高いとされるサンフランシスコ市においても、既存の事務所ビルにこのような規模の太陽光発電設備を導入するケースは稀であり、当ビルの入居テナントを始め、地域社会からも注目を集めています。



8月

国内初の燃料電池船の完成式典を開催

当社は8月5日(水)、環境省からの受託事業「CO₂排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業(小型船舶の低炭素化(燃料電池)の技術開発・実証事業)」で製作を進めていた水素燃料電池船の完成式典を長崎県五島市栴島で開催しました。式典には、石原伸晃元環境大臣、環境省を始め受託企業など関係者約50人が出席しマスコミにも公開しました。

当社を代表とする受託グループで製作した国内初の燃料電池船「長吉丸」は、全長12.5m、10トン級の小型船舶サイズで、最高速度20ノット、1回の水素充填で約2時間(20ノット)の航行が可能です。CO₂を排出せず、駆動音も静かなので、漁業や観光など様々な活用が期待されています。

また、燃料となる水素は、環境省の実証事業として当社が代表として受託している、五島市栴島沖の出力2MWの浮体式洋上風力発電施設「はえんかぜ」によって発電した余剰電力を活用して製造しています。



8月

天井裏に設置するだけで重量床衝撃音を低減

当社はフクビ化学工業(株)と共同で、天井裏に設置するだけで、重量床衝撃音(上階の飛び跳ね音や歩行音など)を大幅に低減できる粒状制振材を開発しました(特許出願中)。

集合住宅においては、重量床衝撃音はクレームに繋がるケースが多く、重量床衝撃音の低減は長年重要な課題となっています。この粒状制振材により、ローコストかつ簡便にこの課題を解決することができます。

今回開発した制振材は、再生樹脂を粒状に加工したものを基材としています。粒状材が互いに衝突、摩擦することにより天井の振動エネルギーを効率的に吸収し、天井からの重量床衝撃音の放射を抑制します。従来のスラブや床仕上げで対応する方法に比べ、圧倒的に軽量でありながら、重量床衝撃音を1~2ランク低減することができます。

今後、量産体制を整え、集合住宅の新築工事やリノベーションなどの改修工事に活用する予定です。



8月

高性能で効果が持続するゼオライト消臭塗料「オドキャッチャー」を開発

当社は、社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院、公益財団法人福岡県すこやか健康事業団、(株)グリーンドゥと共同で、ゼオライトを利用した消臭塗料「オドキャッチャー」を開発しました。

病院や福祉施設では、薬品類や排泄物等の臭いが課題となっていますが、現状では、市販の消臭剤や建材で対処しているのが一般的です。しかし、それらは効力が弱かったり、効力が長続きしないという問題があります。今回開発したオドキャッチャーを用いると、数時間のうちに嫌な臭いが感じられない程度まで臭気が下がり、この効果は長く続きます。

医療・福祉等の分野をはじめ、臭気が問題となっている施設におけるソリューションツールとして積極的に提案していくとともに、今後、一般販売も計画しています。



技術のご紹介

鉄骨工事の自動化を目指す戸田建設の技術

当社は鉄骨工事の自動化技術の開発を進めています。

当社が提供する建築現場の情報化施工の一部をご紹介します。



鉄骨柱の自動計測・建て入れ調整システム

鉄骨工事の高い品質を提供

現在、当社は鉄骨工事の自動化技術の開発を進めており、「鉄骨柱の自動計測・建て入れ調整システム」は、その第1弾となります。このシステムは、鉄骨建方工事の高い品質を提供することを目指し、当社の建築現場の情報化施工を構成する技術の一つとして開発したものです。

このシステムを使うことで、鉄骨柱の建て方時に計測器の盛替えなしに、複数の鉄骨柱を一箇所から自動かつ短時間で計測と建て入れ調整を行うことが可能になります。精度計測と建て入れ制御は、鉄骨柱上部に設置した自動追尾トータルステーションと反射プリズムにより行い、 $\pm 1\text{mm}$ 以内の精度を確保することができます。

システムの操作はモバイルPCを用いて行い、無線通信で自動追尾トータルステーションおよび自動建て入れ装置を制御します。各機器の動力はバッテリーを採用しており、電気配線や通信配線が不要であり、省人化が図れ生産性の向上にも貢献します。



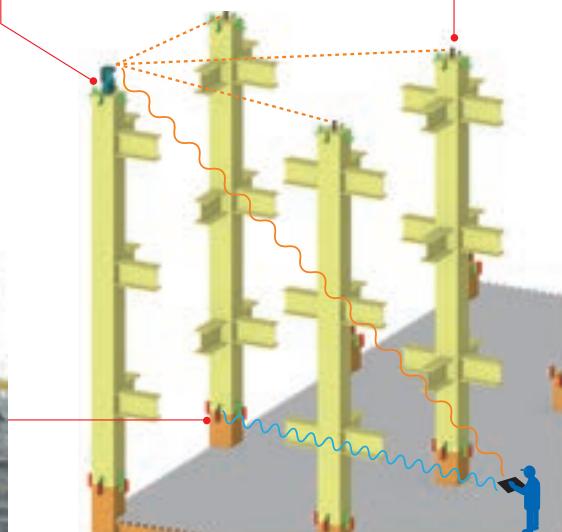
自動追尾トータルステーション



反射プリズム



自動建て入れ装置



制御用モバイルPC

■ 会社概要

(2015年9月30日現在)

● 主な事業所等

本店(東京都中央区京橋一丁目7番1号)

支店

- ・東京支店(東京都中央区)・首都圏土木支店(東京都中央区)
- ・千葉支店(千葉市)・関東支店(さいたま市)・横浜支店(横浜市)
- ・大阪支店(大阪市)・名古屋支店(名古屋市)・札幌支店(札幌市)
- ・東北支店(仙台市)・広島支店(広島市)・四国支店(高松市)
- ・九州支店(福岡市)

技術研究所(つくば市)

子会社

- ・戸田ビルパートナーズ(東京)
- ・アベックエンジニアリング(埼玉)
- ・千代田建工(東京)
- ・戸田道路(東京)
- ・戸田ファイナンス(東京)
- ・東和観光開発(広島)
- ・千代田スタッフサービス(東京)
- ・戸田アメリカ
- ・戸田ブラジル
- ・戸田上海
- ・タイ戸田
- ・戸田ベトナム
- ・戸田フィリピン
- ・ABTD(フィリピン)

● 従業員の状況

従業員数 4,830名(連結) 3,906名(個別)

● 取締役および監査役

代表取締役社長	今井雅則	常勤監査役	野々口悦生
代表取締役	鞠谷祐士	常勤監査役	西牧武志
代表取締役	秋場俊一	監査役	鈴木勝利
代表取締役	宮嶋博之	監査役	秋草史幸
取締役	戸田守道	監査役	神谷和彦
取締役	早川誠		
取締役	西澤豊		
取締役	大友敏弘		
取締役	植草弘		
取締役	下村節宏		
取締役	網谷駿介		

- (注) 1: 取締役下村節宏氏および網谷駿介氏は、社外取締役であります。
 2: 監査役鈴木勝利氏、秋草史幸氏および神谷和彦氏は、社外監査役であります。
 3: 取締役下村節宏氏、網谷駿介氏および監査役神谷和彦氏は東京証券取引所が指定を義務付ける一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立役員であります。

■ 株式の状況

(2015年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 759,000,000株
- 発行済株式の総数 322,656,796株
- 株主数 11,521名
- 大株主

株主名	持株数(千株)
大一殖産株式会社	38,315
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	15,858
戸田秀茂	14,632
株式会社三菱東京U F J 銀行	11,496
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	9,427
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,523
株式会社みずほ銀行	7,107
三宅良彦	7,027
戸田博子	6,611
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,596

(注)上記のほか当社所有の自己株式15,545千株があります。

■ 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL.0120-232-711(通話料無料)
上場金融商品取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.toda.co.jp/ ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

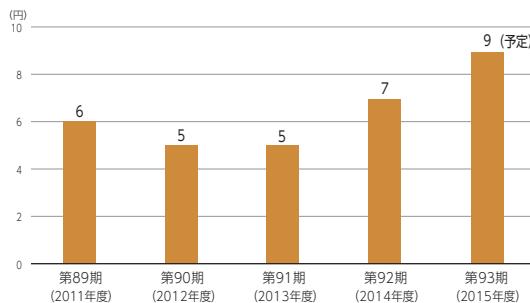
株主還元について

利益配分に関する基本方針および当期の配当

当社は、株主の皆様への継続的な安定配当の実施と、競争力および財務体質の強化に不可欠な内部留保の確保を勘案の上、業績および経営環境に応じた利益配分を行うことを基本方針としております。

当期の1株当たりの年間配当金は7円としておりましたが、業績予想および今後の経営環境等を総合的に勘案し、2円増配の9円とすることを予定しております。

1株当たり配当金推移



株主優待制度のご案内

当社では毎年9月末時点の株主名簿に記載または記録された1単元(1,000株)以上保有の株主様を対象に、株主優待を実施しています。



■ 優待内容

当社グループが保有・運営する「ホテル&リゾート サンシャイン サザンセット」(山口県大島郡周防大島町)の株主優待券を贈呈いたします。

割引率

平日(日曜日～木曜日)	正規の宿泊料金より30%割引
休前日(金曜日・土曜日・祝前日)	正規の宿泊料金より20%割引

発行基準

所有株式数1,000株以上5,000株未満	2枚
所有株式数5,000株以上	4枚

■ ご利用方法

- ご予約の際に優待券面に記載された番号をご連絡ください。
- 株主優待券1枚につき1回あたり1室のご利用ができます。
- 本制度の対象となる客室は1日あたり5室までといたします。

「戸田建設コーポレートレポート2015」を発行



当社は、2014年度の財務報告とCSR(企業の社会的責任)に関する活動実績を取りまとめた「戸田建設コーポレートレポート2015」を発行しました。本レポートは、ステークホルダーの皆さまにとって重要性、簡潔性、明瞭性ある情報の編集に配慮し制作しています。

詳細はWEBサイトからご確認いただけます。

<http://www.toda.co.jp/csr/>

戸田建設株式会社

〒104-8388 東京都中央区京橋一丁目7番1号
TEL.(03) 3535-1357
<http://www.toda.co.jp/>

戸田建設

検索



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

環境保全のため、FSC®認証紙と植物油インキを使用して印刷しています。